

永井鱗太郎さん 児童劇作家の世界

朗読や合唱で楽しむ

あわら

旧金津町（現あわら市）

出身の児童劇作家永井鱗太郎さん（本名善太郎、一九〇七～八五年）の作品を楽しむ会が、あわら市市姫一丁目の市中央公民館であり、市民ら百七十人が短歌や詩、童話を、朗読や合唱などで楽しんだ。

永井さんは、福井師範学校（現福井大）時代から文学に親しみ、教員の傍ら劇作家として活躍。金津東小学校の校歌作詞や短歌集「かりやす」を出版するなどした。一九八四（昭和五十九）年に芸術文化功勞者として勲五等瑞宝章を受章。市内の刈安山自然公園には文学碑も立っている。

作品を楽しむ会は、地元

が生んだ文学者の功績を子どもたちにも知ってもらおうと、有志らでつくる実行委員会が企画。金津中学校放送部の生徒八人は、ふるさとを題材にした短歌や詩を朗読した。金津東小五、六年生の三十六人は、校歌を歌うとともに、児童音楽劇「にわたりのとさかはなげ赤い」の劇中歌を、歌や鍵盤ハーモニカとリコーダーの演奏で披露した。

これまで永井さんを知らなかったという六年生の矢崎有香さん（二）は「小学三、四年生で詩を書くななんてすごい」と驚いた様子。おいの永井法男さん（六）は「福井市原目町」は「園児のころ絵本を二、三冊送ってくれた記憶がある。ふるさ



故永井鱗太郎さん作詞の校歌を歌う金津東小学校の5、6年生＝あわら市中央公民館で

5/20

どの人たちに親しんでもらいたい」と感謝して

いた。

レイアウト・中村 隆之

（中田誠司）